

## 日本水土総研セミナー

# 荒廃農地再生の取組による 農業・地域振興シンポジウム

参加  
無料

農業と農村は、国民に安定的な食料を供給するのみならず、国土や自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能を有しています。しかしながら、過疎化・高齢化により集落機能や地域資源の維持が困難となっており、多面的機能支払いの導入により地域共同の取組が支援されている他、6次産業化など、雇用・所得の創出や都市農村交流等の活性化につながる動きも見られます。

また、担い手へ農地集積し飼料米等の拡大を図るなど農業構造や営農体系の変化に対応すべく、農業用水や施設の管理についても一層の合理化が求められています。

さらに、近年大規模地震の発生や気候変動に伴う自然災害のリスクが高まっており、農村においても老朽ため池対策を含む防災・減災対策など「国土強靱化」に向けた取組を進めることが一層重要となっています。

こうした中、(一財)日本水土総合研究所は、昭和53年の設立以来シンクタンクとして農業農村整備及び農村振興に関する政策的及び技術的課題を解決するための調査研究を行い、その成果を各方面に発信しています。この度その一環として、「荒廃農地再生の取組による農業・地域振興シンポジウム」と題し、下記のとおりセミナーを開催することといたしました。

本セミナーでは、耕作放棄地となっていた16.9haの桑園跡地について、担い手である法人へ一括して農地利用集積を図り、大区画化も行いながら荒廃農地を再生した長野県伊那市の農事組合法人田原の酒井弘道事務局長から、「地域農業振興への取組 ～耕作放棄地の再生と共同の村作り～」と題してご講演をいただきます。

なお、同法人は、平成25年度全国担い手サミットの優良経営体表彰での農林水産省経営局長賞をはじめとして、平成26年度遊休農地活用功績者長野県知事賞等を受賞するなど、その取組が高く評価されています。

また、当研究所より、最近の研究成果の中から「国営事業を契機とした農業・地域振興 ～荒川中部地区を例として～」、「国営造成農業用ダムの耐震性能照査の現状と課題」について紹介いたします。

多くの方に本セミナーにご参加いただくことで、今後の関東地方における地域農業の振興や農地・農業用施設の維持管理に向けた活動の一助となれば幸いです。

日時：平成28年 9月 29日(木) 13:30～16:30  
(開場・受付 13:00～)

会場：ラフレさいたま 桃の間

〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心3-2

TEL：048-601-1111

交通アクセス JR京浜東北線・宇都宮線・高崎線「さいたま新都心駅」下車 徒歩10分

JR埼京線「北与野駅」下車 徒歩15分

お車の場合：高速埼玉新都心線「新都心出口ランプ」→「さいたま新都心」

出口から約400m ※ 駐車場(有料)には限りがあります。

定員：120名 (定員となり次第締め切りとさせていただきます。)

主催：一般財団法人 日本水土総合研究所

(写真) 法人田原により再生された農地

# プログラム

13:00	開場・受付	
13:30	挨拶	一般財団法人 日本水土総合研究所理事長 齋藤 晴美
13:40	基調講演 (50分)	地域農業振興への取組 ～耕作放棄地の再生と共同の村作り～ 長野県伊那市農事組合法人田原事務局長 酒井 弘道
14:30	質疑(15分)	
(14:45~15:00)		休 憩
15:00	講演 (40分)	国営事業を契機とした農業・地域振興 ～荒川中部地区を例として～ 一般財団法人 日本水土総合研究所 企画研究部 部長 川合 規史
15:40	質疑(5分)	
15:45	講演 (40分)	国営造成農業用ダムの耐震性能照査の現状と課題 一般財団法人 日本水土総合研究所 調査研究部 主任研究員 愛宕 徳行
16:25	質疑(5分)	

## セミナー会場 ラフレさいたま 桃の間



ラフレさいたまホームページより

## 講師の紹介

講師 **酒井 弘道** (さかい ひろみち) 氏  
長野県伊那市 農事組合法人田原 事務局長

### 【農事組合法人の概要】

平成 16 年 10 月設立。組合員 83 名。水田 32ha、畑 16ha (主に小麦、白ネギ、ブロッコリー、リンゴを作付)。

平成 23~25 年度にかけ、国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金を活用し、基本的に全て地域住民自らの設計・施工により、16.9ha の耕作放棄地を再生、営農を展開。これら一連の取組が高く評価され各賞を受賞。

- 平成 25 年 全国優良経営体表彰 農林水産省経営局長賞受賞
- 平成 26 年 遊休農地活用功績者 長野県知事賞受賞
- 平成 28 年 全国農業会議所会長賞受賞

### 【講師略歴】

昭和 28 年 伊那市田原生まれ。  
日本大学農学部卒業後、JA 伊那 (現在の JA 上伊那) へ就職。平成元年退職後、専業農家へ。  
現在、花卉栽培を中心として活躍。

このまま切らずに FAX 又はメールで送付してください

## 参加申込書

定員 (120 名) になり次第締め切りとさせていただきます。

所 属 等	参加者氏名	※CPD 登録番号
住 所 〒		
電話番号		

※本セミナーは(公社)農業農村工学会 技術者継続教育機構 (CPD) 認定プログラムとして申請致します。

## 申 込 先

03-3502-1329 (FAX) または toyohiko-ojima@jiid.or.jp (メール)

お問い合わせは、日本水土総合研究所 愛宕(あたご)、尾島(おじま)までお願いします (電話 03-3502-1380)